

親切運動の取組について

学校名 射水市立新湊南部中学校

生徒数 234名

1 親切運動の取組の紹介

「生徒主体の学校づくり」

コロナウイルスが5類に引き下げられ、今年度は生徒会を中心とした、委員会活動が活発に行われている。

執行部と文化広報委員会の共同企画で行われた球技大会では、全校生徒が昼休みの時間を活用しドッジボールを行った。昼休みという短い時間を効率よく活用するために、企画の段階から執行部・委員長が話し合い、当日は効率のよい運営を行った。



「花いっぱい運動」

JRC委員会が中心となり、学校周辺の花壇に花を植えた。色や種類のバランスを考えながら花を植え、学校のシンボル「六葉花壇」を中心に華やかな学校づくりを進めた。

また、夏季休業中の水やり当番についても、自分たちで話し合いながら割り振りをを行い、自分たちで植えた花を大切に育てようとする姿が見られた。



2 親切運動に取り組んで

・取組の成果

球技大会では、試行錯誤をし、生徒自らが企画・運営する力を育てるよい機会となった。活動後の生徒の表情や言葉からは達成感や充実感がみられた。

花を育てる活動では、植物を大切にしようとする気持ちを育む貴重な機会となった。また、花を地域の人や来校者にも見てもらうことを意識して、水やりや除草等、自主的に活動する生徒の育成の場になった。

・課題と今後に向けて

今年度は「主体的に考え、判断し、行動する生徒の育成」を重点に置き、教育活動を行っている。生徒会を中心に何事も挑戦し、実行させることで、生徒の活躍の場をこれからも与えていきたい。

また、一部の生徒だけではなく、全校生徒が主体的に考え、積極的に行動できる生徒を育てていきたい。